

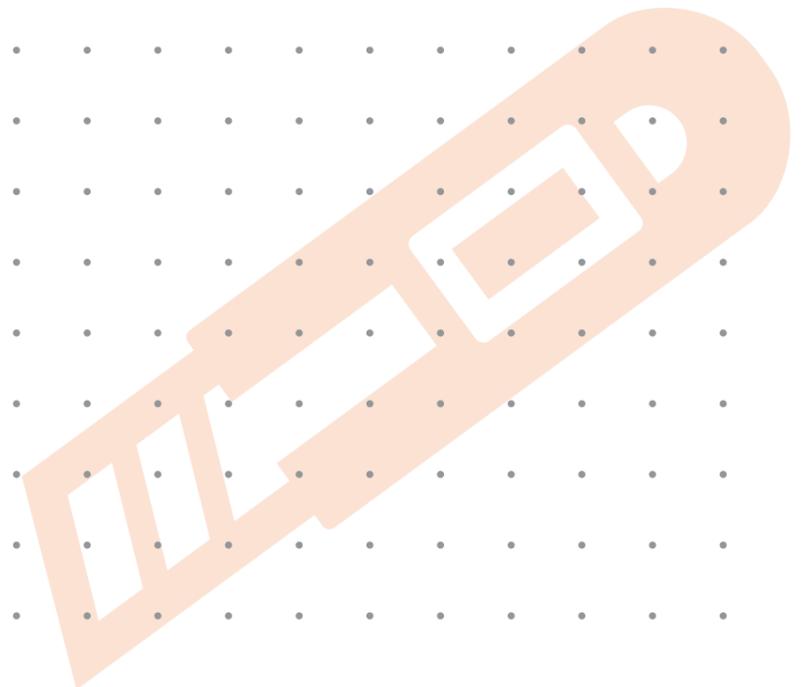


工事店様へ

FEEL-CL

High-Grade Wool Cushion Tile

施工手順書



田島ルーフィング株式会社

住建営業部 住建床材担当

〒101-8579 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX南ウイング21階

TEL.03-6837-8900 FAX.03-6837-8905

JU-1FS-2011-1A-0.1-GR

FEEL-CL

High-Grade Wool Cushion Tile

01 材料の搬入・保管

- ・接着剤の選定につき指示がある場合はそれに従い、ない場合は当社指定の『スベリ止め剤』または『Sigan TAPE100』を使用してください。
- ・材料を指定の場所に搬入し、数量とロットの確認を行ってください。複数ロットで入荷している場合は、施工箇所ごとに材料の積み分けを行い、混同使用がないようにしてください。
- ・できる限りフロアは1日で仕上げてください。ウール素材は、空気に触れることで漂白現象が始まり、同ロット商品でもロット違いのように見えます。
- ・カーペットタイルはクセがつかないよう水平な状態を保ち、積み重ね段数は梱包箱の表示に従ってください。
- ・『スベリ止め剤』とともに5℃～35℃の室内で直射日光の当たらない場所に保管してください。

02 下地のチェック

<モルタル・コンクリート下地の場合>

- ・下地の乾燥、強度、平滑度などについてチェックしてください。
- ・点検の結果、著しい不都合がある場合は、協議のうえ下地補修材『フラッター』などで下地の調整を行なってください。

<木下地の場合>

- ・下地の合板は普通合板を使用してください。
- ・下地の仕上げ合板の間に隙間や段差がないかチェックし、不具合がある場合は、隙間はパテ等を充填し、段差は削って平滑にしてください。釘頭は表面に飛び出ないように深めに打ち込み、凹みを充填処理して平滑に仕上げてください。

<既存床材の場合>

- ・フローリングやプラスチック床材への重ね貼りの場合、破損、浮き上がり、凹凸などについてチェックしてください。不具合がある場合は必ず補修してください。
- ・汚れや油脂分なども除去してください。
- ・既存床材の貼り替えの場合は、古い既存床材や接着剤を完全に除去し、十分にケレン・清掃を行ない平滑にしてください。

施工手順書

03 割り付け

- ・割り付けの方法に特別の指示がある場合は、指示のデザインに従い、それ以外の場合は原則として材料のロスが少なく、周辺部に極端に小さなカット物(元のサイズの1/2以下のもの)が入らないように割り付けてください。
- ・出入口など歩行量が多く、汚れや損傷が生じやすい箇所には、カット物(400mm以下のもの)が入らないようにしてください。

A 一般工法の場合 接着剤『スベリ止め剤』塗布による施工

04-a 接着剤の塗布

『スベリ止め剤』はローラー刷毛を使用して、全面に塗布してください。

<標準的な塗布量>
100～120g/㎡程度



05-a オープンタイム

オープンタイムは、下地の種類、温湿度、通風などにより異なりますが、『スベリ止め剤』塗膜の大部分が透明になりベタツキが生じる状態を目安にしてください。

<塗膜が透明になるまでの目安>

木下地の場合: 20℃、60%、で30～40分
20℃、30%で20～30分

※吸水性の高い下地の場合はこの目安よりも早くなりますので、状況を見て塗布量を多くしてください。
※乾燥時間を早めるためにサーキュレーターなどによる送風をお勧めします。

06-a 敷き込み

- ・流し貼り(順目貼り)を標準とします、裏面の矢印を同じ方向へ合わせて貼ってください。

- ・基準線に沿って中央部から敷き込み始めてください。2列目以降は、前列のカーペットタイルを基準として、目地の狂いがないように、きっちりと目地を詰めて階段状に敷き込んでください。目地まわりを押さえて下地に密着させてください。
- ・壁際・柱回りなどの最後の1列を残して敷き込み、これらの部分は最後にまとめて仕上げてください。

B 現状復旧する場合 Sigan TAPE100による施工

04-b 下地チェック

- ・Sigan TAPE100を100～200mm下地に貼り付け、引っ張ったときに簡単に剥がれないことを確認してください。

05-b Sigan TAPE100の割り付け

- ・施工する部分の周囲すべてにSigan TAPE100を貼り付けてください。
- ・長い方の基準線の上に、Sigan TAPE100の中心に基準線がくるようにSigan TAPE100を貼り付けてください。
- ・基準線の上に貼り付けたSigan TAPE100に平行になるように300mmピッチでSigan TAPE100を貼り付けて下さい。
- ・短い方の基準線の上にもSigan TAPE100の中心に基準線がくるようにSigan TAPE100を貼り付けてください。
- ・基準線の上に貼り付けたSigan TAPE100の剥離紙を剥がして、改めて基準線を引いてください。



Sigan TAPE100貼り付け



墨打ち

06-b 敷き込み

- ・流し貼り(順目貼り)を標準とします。裏面の矢印を同じ方向へ合わせて貼ってください。
- ・基準線に沿って中央部から敷き込み始めてください。2列目以降はSigan TAPE100の剥離紙を剥がしながら、前列のカーペットタイルを基準として、目地の狂いがないように、きっちりと目地を詰めて階段状に敷き込んでください。目地のまわりを押さえて下地に密着させてください。

- ・壁際・柱回りなどは最後の1列を残して敷き込み、これらの部分は最後にまとめて仕上げてください。



POINT 敷き込みのやり方

- ①すでに貼り付けてあるタイルの目地と、これから貼り付けるタイルの目地を合わせてください。



- ②両手でタイルの真ん中を持ち、もう一方の目地に合わせたあと、目地のない方の手から離して敷き込んでください。



- ③目地部では先に貼り付けてあるタイルのパイルが断面に食い込みますので、千枚通しなどでパイルを引き上げてください。



07 壁際のカット

- ・カットする場合は、直定規などを使用して必ず裏面よりカットしてください。
- ・けがき(寸法採り)は実測法で行ってください。



08 施工後の点検

- ・目違い、浮き、汚れ、毛羽立ちなど不具合の有無を点検し、不具合がある場合は処理を行ってください。